

■ 手をつなぎ、心通わす 誘・融（とけ合う）老上 （老上学区地域協働合校推進委員会）

1 【活動の趣旨】

「手をつなぎ、心通わす 誘・融（とけ合う）老上」をテーマに、地域の子どもたちが地域のおとなと共に学び、交流が深まり合う事業を行う。

2 【特徴的な活動内容】

○「わんぱくプラザ老上 お楽しみウォークラリー！」

日 時：令和2年11月14日（土）9時～11時30分

場 所：老上学区南笠町方面

年間8回の内容を計画していたが、コロナ禍のために子どもと大人の安全安心を考え、宿泊体験・田植えを中止した。少人数の縦割り班とし、手づくり散策マップをたよりにクイズ・宝探し・フリスビーを設けたウォークラリーを開催。自分たちの住んでいる地域を歩き、自然を感じ、普段訪れることのなかった神社等から身近な歴史を知るきっかけとなった。子どもたちが中心となり、異年齢の子どもたちがお互いを思いやり、そして考え、自ら行動することを学んだ。



【ウォークラリー】

○「わんぱくプラザ老上 新春書き初め大会」

日 時：令和3年1月9日（土）13時30分～16時

場 所：老上小学校体育館・老上まちづくりセンター

書道パフォーマンスを見て、力強い気持ちをこめて書き初めを体験した。また、紙に好きな字を筆で書き、凧を作って凧あげを体験した。さらに昨年度、学区の子どもたちが制作した紙芝居を演じ、鑑賞した。



【新春書き初め大会】

○「夢街道あいさつ通り推進友の会」

毎月8日のあいさつ運動は、休校だった5月を除き行った。マスクはしているがお互い目と目を合わせるだけでも心を通わすことができた。花植えは、花を見た子どもやおとなが優しい気持ちになれるよう心を込めて行った。



【稲刈り】

○「老上ふれあい農業合校」

農業合校は、学校やこども園のサポートだけでなく、農業を通じてつながる地域の大人の学び合う合校でもある。今年も農業合校生として一坪農園で野菜や、米づくりを共にした。

3 【実施に当たっての工夫】

「わんぱくプラザ老上」では、公募による子ども事業サポーターが中心となり、安全性と事業目的を考慮しながら企画を行っている。また、運営には、参加者の保護者にも御協力いただくことができた。

4 【事業の成果】

「わんぱくプラザ老上」では、地域の自然や文化・歴史を楽しみながら地域の大人と共に学ぶよい機会となった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

「わんぱくプラザ老上」では、企画、運営を担う子ども事業サポーターを、毎年十分な人数確保できるかどうかは課題である。